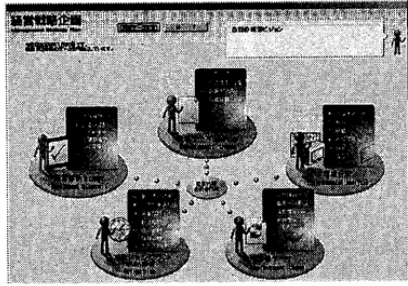


情報戦略モデル研

アスキー



情報戦略モデル研の研修で使われる画面

資金調達や市場分析

戦略伝授へ研修

研修の実施期間は一日の短期集中型。内容に応じ二種類あり、基礎知識習得コースが四万円、実践コースが十三万円。実践コースの料金は専用ソフトの代金を含む。基礎コースは経営戦略立案のために必要な経済用語などの知識の習得をめぐす。例えば、資材調達から在庫までを一括管理するサプライチェーン・マネジメント(SCM)の考え方や、ベンチャー企業での導入事例を解説する。

技術系V&Bの経営支援

経営コンサルティングの情報戦略モデル研究所(横浜市、井上正和社長、045・934・7254)はIT(情報技術)関連出版のアスキー(東京・千代田)と組み、技術系ベンチャー企業向けの経営支援事業を六月か

ら始める。技術者出身の経営者を対象に、資金調達や市場分析など基本的な経営戦略を伝授する研修を共同で運営する。パソコンで簡単に事業計画書を作成できるソフトも同時に販売する。

一方、実践コースでは、研修を受ける経営者が、自社の経営戦略を実際に完成させることを最終目標にする。情報戦略モデル研の講師のサポートを受けながら、受講者自身が会社内部の課題や景気など外部環境の影響を整理する。実践コースは中小企業の経営支援を手掛けるフロンティア(大阪市)が開発したソフト「ズバリ! 経営戦略立案」を活用。同ソフトを使うと、

製品・顧客別の収益推移や部門別の行動計画などといった必要事項を入力するだけで、事業計画書のひながたを自動的に作成できる。

情報戦略モデル研は、「一回十万円前後の価格に抑えることで創業間もない企業でも利用しやすい

とした」(井上社長)としている。研修は基礎、実践とも毎月一回開催する。一回につき十一、二十人の参加を見込む。

日経産業新聞4月4日掲載